

農家での設置例

<シート利用ふん尿処理施設>

設置場所 常呂郡佐呂間町
簡易堆肥場:312㎡

特徴

シートを利用した堆肥化施設。地域の協力による自家施工のため建設費の削減。

設置費

約50万円

(整地、穴掘り、底部しゃ水シート設置、集水管工事)

可能な限りコストを削減した。



農家の評価

設置工事費が安い。はい汁が排出されるため、堆肥化がスムーズに図られる。労働力をかけないで良質堆肥が作れること。

<シート利用スラリー貯留施設>

設置場所 標津郡中標津町
スラリー貯留施設:2,500㎡

特徴

しゃ水シートを利用したスラリー貯留施設。(現状では雨水分離シートは設置していない)一部自家施工による建設費の削減。

設置費

約480万円

(整地、穴掘り、しゃ水シート設置工事)
フェンスの設置とスラリーの投入用パイプ
設置工事の一部を自家施工した。



農家の評価

設置工事費が安い。雨や雪が入って容量が増えることが問題である。工事終了後、スラリー投入までの間にキタキツネにシートを破られた。